

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
① 1	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策20 災害対策の強化	<p>■現場の実態と将来像を語らない基本計画の意味</p> <p>*第5次香芝市総合計画／基本計画案「災害対策の強化」——奈良県や国に提出すれば、行政ベースの計画案・強化策としては「◎印の秀作プラン」と評されるかもしれない。が、これはあくまで自演の「計画案」。取りまとめ・公表にはギリギリの選択・最大公約数であったか…と、苦渋の程を推察する。</p> <p>しかし、自主防災組織(以下、地域組織)の現場を預かる立場から言えば、過去の計画や施策(行政不策と地域組織停滞の現状・実態)を顧みることもなく、また具体的な将来像も示さず全面“内々理論”の本案は、現場感覚・危機感ゼロで、現場の不信と不安には何も応えていない“通り一遍の作文”か…と与る。</p> <p>いま求められているのは、①行政の意識改革・体質改善、②地域組織の育成・強化、③避難所対策の充実強化で、そこに向けた明確な計画提示であった。</p> <p>計画案の作成自体には一定の評価をすとしても、これでは、災害対策の全体像も将来像も道筋も、具体的に見通すことが出来ない。加えて「災害対策の基本・現状認識と課題・施策の取り組み」記述は、“これ以上でも以下でもない”一般論に終始して、行政と地域組織の実態を熟考した形跡も、独自の地域性も見当たらない。災害対策に本腰を入れて臨もうという心意気もない。</p> <p>中期計画(4年)である。せめて、「今後5年間で“防災奈良いち”を目指す」くらいの勇断と本気度、計画・行動意欲の表明が欲しかった。本質的かつ現実の課題と明確な将来像への道筋を欠いた本案には、いささか失望した。</p> <p>*大事なことは「基本計画」と「施策の実施」「結果と成果の積み上げ」にある。が、その判断に資する総括も行政評価もない。まして、第4次計画との連動・関連性も語らず、現場の実態を無視した本案は訴求力とインパクトに欠けるものとなった。地域防災対策関連事業・防災用品整備事業など、既に打ち出している策を改めて示しただけで、新しい展開・展望は何も見えて来ない。</p> <p>行政および地域組織の現状(計画と動きの悪さ)を憂う者には、表現は悪いが作成事実(実績)を残すために作った、恒例の「行政のための、行政基本計画」との印象である。“実態と未来”置き去りの計画案であることに気づいてほしい。</p> <p>*総合計画・基本計画の“不要論”ではない。</p> <p>計画と施策の実施、実績・成果の確認・分析・考察という、計画と施策の“連動サイクル”の本筋を欠く基本計画・災害対策には“説得力が無い”ということ、改めて指摘しておく。</p> <p>実態無視の計画は、その本質が問われるし、課題と施策の視点がズレている。状況が分からない初見者には、パブリックコメントで意見の述べようもない。</p> <p>担当部局もまた、本案では明確な意識も行動原理も整理・共有できないままにまた数年、同じことが繰り返されていくのか…と憂慮する。</p> <p>*第1次総合計画がスタートして何年経つのだろうか…？</p> <p>率直に言って、この時期に至ってもまだ、このレベルの施策・内容が、計画と議論の対象になっていること自体に、少なからず驚く。</p> <p>災害対策／基本項目の“繰り返し・提言”が、計画案のベースに必要なことは承知しつつも、これでは具体的な施策と実績の積み上げが無かった“過去からのツケと結果”であり、厳しく反省を求める。</p>	—	※次項目以降でいただいた具体的なご意見等を踏まえ、一部、追記・修正等いたします。	危機管理室

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
		<p>4次計画⇒5次計画では、どこがどう変わって、出来たこと・出来なかったことは何なのか…。いま最も緊急に手立てを要する対策・課題は、何と何なのか。</p> <p>そこが5次計画のポイントであるが、現状認識・具体的な施策(2項目のみ)では伺い知ることも出来ない。</p> <p>検証と反省を欠いた計画では、有益で有効な対策を打ち出すことは出来ない。</p> <p>——“それは、ここでの記述には馴染まない…?” イヤ違う。行政防災施策の実態を見れば、「行政評価も連動も、関係ない」、「計画づくりは計画づくり」と割り切った、悪意の無い、長い間の慣習か…と、勝手に想像する。</p>			
2		<p><b>■個別の項目／現状と課題</b></p> <p>*7項目すべてが「必要がある・求められる…」と、認識論を述べるに留まっている。これは学術論文ではない、基本計画である。現状と課題の認識に併せて具体的な行動計画を、多角的に、トータルに示さなければならぬ。</p> <p>例えば、「避難時の初動」や「自主防災組織の育成」に、行政はどう指導力を発揮して、どう育成していこうとするのか。肝心の「施策の主な取り組み」には、その具体的な施策の項目も考え方も示されていない。連動していない。</p> <p>*現状と課題の捉え方も断片的で、香芝市“災害対策全体の今と未来”を見通した戦略的・包括的な現状分析・課題整理とは言い難い。文章も、最後まで読まなければ「文意と課題」がつかめない。</p> <p>要は、</p> <p>①行政災害対策情報の公開と伝達・周知。</p> <p>②自主防災組織の統括／具体的な指導・育成施策。</p> <p>(避難所運営マニュアルの作成促進と運営体制の構築は、この項の一環)</p> <p>③避難所関連／生活環境備蓄品整備の備、避難所運営マニュアルの改訂、避難所運営の支援(担当者の研修と連携強化、コロナ対策)</p> <p>④災害時要援護者／援護者の把握、避難時の支援体制、避難所対応</p> <p>⑤防災備蓄品／</p> <p>⑥withコロナ／避難所運営・新型コロナウイルス感染症対策と対応(収容人数の大幅減と感染防止対策、環境整備、発熱者・体調不良者対応)と簡潔に整理・説明を加えて、「施策の取り組み」で実施項目と連動させれば、誰にでも分かり易い災害対策全般の計画案になる。</p> <p>—— 現状、地域組織の最大の苦悩／①～⑤の課題と、行政施策の緊急かつ強力な取り組み要請を、別途提起する(別紙①)</p> <p>*「災害対策／withコロナ」—— 新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延は、避難所運営にも新たな対策と対応を迫っている。国内・感染拡大の広がりが一年。これは、災害対策にとっても明らかな状況の変化であり、新たな課題を突きつけられた…と解すべきであるが、新型コロナ対応に関連した文言・記述は一切ない。仮に短期終息しても避難所課題としては残る。状況認識が甘い。</p>	追記・修正します。	<p>「現状と課題」は、施策を進めていく上で、踏まえておくべき状況を客観的に整理する項目です。本市の現状はどうか、課題は何かといった本市固有の事項のほか、施策に関連する社会動向や全国的に求められている事項等について、列記したものととなっております。</p> <p>「一つの課題に対して、一つの主な取り組みを設定する」という構造にはなっておりませんが、「現状と課題」を踏まえた上で、実施すべき事業をまとめ、主な取り組みとして設定しております。</p> <p>「分かりづらい」「連動していない」とのご意見をいただいておりますが、全体構成の都合上、原案のとおりとさせていただきたいと思っております。しかしながら、ご意見いただいております趣旨を踏まえまして、事業内容を具体化するにあたっては、一つひとつを現状と課題に照らし、検討してまいります。</p> <p>なお、ご提示いただいた項目の⑥に関連するものとして、原案では、対策すべき「感染症」を取って特定のものに限定せず、広く感染症全般に関するものとして記述をしておりましたが、昨今の国内外における新型コロナウイルス感染症の感染状況やその影響の度合いを鑑み、追記・修正いたします。</p>	危機管理室

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
3		<p>■目指す姿 *言や良し——“一丸となって…”の意味と意識は、行政自身が強力なリーダーシップを発揮し、実現していくことへの決意表明と受け止める。災害対策では、行政と地域組織(市民)は“車の両輪”。地域組織の自助努力は当然であるが、行政が指導育成・統括に何ら関与していない現状は極めて異常事態。「地域組織は自主運営だから、放っておいても構わない…」との誤った考え方が、全面的に改められることを期待する。</p> <p>*目指す姿が、どの時点での“実現指標”と捉えているのか分からない。当然、前期基本計画案の終了時・令和6年度と理解するが、ならばこの“目標達成”に向けた、今後4年間の「災害対策・推進計画」等のロードマップ(年次計画工程表)をキチンと詰めて、“計画と行動の全容”を内外に示すことが必定。 そして、年度ごとに「行政評価と、必要な工程表の微調整」をすすめて、4年後には、“目指す姿”の確実な実現を期待する。</p>	原案のとおりとします。	ご意見をしっかりと受け止め、市民の皆さまや、自主防災組織をはじめとした地域組織との連携を強化し、災害に強いまちづくりに向けて、取組を進めてまいります。	危機管理室
4		<p>■SDGs該当分野 *基本計画の必須項目なのかどうか…、疑問である。これは位置付けの問題で、計画・施策ではない。大事な観点ではあろうが、目標達成に向けた取り組みの記述は全て当たり前のことばかり。担当部局が心得ておけばいいことで、敢えて項目設定することの意味は薄い。むしろ、この項目をカットして「施策の取り組み」枠を拡大・充実させる方が、“より実質的で理解度が深まる計画案”になる。配慮していることを対外的にアピールするパフォーマンスの一つか。</p>	原案のとおりとします。	SDGsは全世界共通目標であり、国においても各自治体で推進するよう求められているものです。本市においては、第5次総合計画の各施策に、SDGsの17の目標を関連付けて推進することで、本市固有の目標達成を目指すとともに、世界各国で取り組まれている活動の目標達成に貢献していきたいと考えております。市民・地域団体・事業者と協働で総合計画の事業を進めていく際に、皆さまにもSDGsについて一緒に意識していただくことで、より効果的にこれらの目標に近づけると考えております。市民・地域団体・事業者、そして行政の間で目標を共有するためのものがございますので、原案のとおりといたします。	危機管理室
5		<p>■生活の中でみんなができること *これもまた、三者が出来ることの列記・掛け声だけで、後は当事者任せ…、の悪弊がそのまま踏襲されているのではないかと危惧する。目指す姿の項で言う“三者の強靱な基盤”が出来上がってれば納得するが、現状では、差し障りの無い「お題目の常套句」。説得力も効果もない。市民に、地域団体に、誰がどのような手立てで啓発し、行動に結びつけていくのか…、そこが問われている。まさに「施策の取り組み」の問題である。</p> <p>災害対策の前提は「行政と地域組織は車の両輪」の発想である。香芝市・災害対策計画と施策にはその信念がない。考え方がない。行政が自ら動いて、強力なリーダーシップで地域組織を指導育成し、組織力と行動力を備えた、香芝市独自の「地域組織・ネットワーク」を作る。これが今香芝市に一番必要で、求められている課題ではないのか…。このことを抜きにした常套句の羅列——後は市民任せ・地域団体任せでは、何も前進しないことを改めて肝に命じたい。</p>	追記・修正します。	第5次総合計画では、全施策を通じて「協働によるまちづくり」をより一層強く推進していきたいと考えております。そのため、市民・地域団体・事業者の皆さまが、それぞれの立場で活動できる範囲において実践していただくことを「生活の中でみんなができること」として挙げさせていただいております。ご指摘のように、市民任せ、地域団体任せ、事業者任せにならないよう、さまざまな機会を通じて広く周知し、4者でもとに取組む機運を高めてまいりたいと思っております。ご意見いただいております災害対策においては、特に行政と市民、自主防災組織の連携・協働が大切な柱となる施策でございますので、主な取り組み①に「緊密な連携」に関すること、主な取り組み④に「自主防災組織の育成」に関することについて、追記・修正いたします。なお、「生活の中でみんなができること」は、原案のとおりといたします。	危機管理室

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
6		<p>■施策の主な取り組み *「主な取り組み」との枠付けがあるとしても、行政サイドの2項目に、驚く。 結局、全体状況の中で優先・必要な施策の、大局的・総合的な分析・判断が出来ていないことがわかる。最低限、地域組織対応と避難所関連を書き込まなければ、標題「災害対策の強化」にはならない。</p> <p>●災害時緊急体制の確立 *重要な取り組みであることに異論はないが、実施事業2項目は“我がこと”ばかりで全体状況を見てない、捉えていない。状況と課題との連動も弱い。これでは、標題と馴染まない。総合計画／基本計画の名にも値しない。 現場の実態からすれば、少なくとも、施策の取り組みは「行政と地域組織の両面」から迫る着眼点とバランス感覚がほしい。 地域組織の無視・現場を無視した基本計画…と言うことを、語らずして自ら認めたようなものである。</p>	追記・修正します。	<p>災害対策はさまざまな面から捉えて事業を実施しなければならず、多くの要素を含んでいることから、まず、①構築しておくべき緊急体制の確立、②ハード面での災害対策の強化、③消防団を中心とした災害対策の強化、④自主防災組織を中心とした災害対策の強化、の4面に分けて整理し、そして次に、①～④それぞれにおいて行政が実施するべき主要事業を整理しております。 ご指摘いただいております「行政と自主防災組織の両面」から迫る着眼点としては、①及び④がそれにあたりますが、①と④の「連携」に関すること、④の「育成」に関することについての記述が不足しておりますので、追記・修正いたします。また併せて、「現状と課題」にも追記いたします。 災害対策においては、市民・地域団体、そして行政の3者の協働が特に求められるものでございますので、ご意見を踏まえしっかりと取り組んでまいります。</p>	危機管理室
7		<p>■新型コロナ感染症対策 *目下の最大関心事“新型コロナ対応”の関連記述が、現状と課題にも施策の取り組みにも無い。新型コロナ問題は一過性ではない。暫くは“withコロナ”。 一旦終息したとしても、感染対策・対応は継続・留意すべき重要事項である。新型コロナ対応／感染が疑われる発熱者・体調不良者等の対応は、なぜか全てが“避難所マル投げ”。医療の専門家でもない地域組織のボランティア要員に対応を求めているながら、状況と課題・取り組み施策には一言も触れない態度の鈍さ・無神経さには憤りさえ感じる。求めているのは、国や県の指針ではなく、香芝市の考え方である。どこを見て仕事をしているのか…。</p> <p>*「新型コロナ対応地方創生臨時交付金」の活用 新型コロナ感染防止対策上、3密回避の社会的距離(1.6m/1人⇒4m)を確保すれば、避難所の収容人数は従来の1/3程度に…と“大幅減”になる。避難者が溢れた場合はどうするのか、避難所の追加措置はあるのか。避難所内・受付の感染拡大防止対策・対応はどうするのか。スペース間仕切りは簡易テント…と言うが、絶対数の不足はどう対応するのか…。分からないことばかり。 「新型コロナ対応地方創生臨時交付金」を活用して、何をどれだけ整備して、どう運用していくか…。それくらいの設計図が描けないようでは、防災担当者の名が廃る。施策の取り組み／避難所生活環境改善の最大のポイントである。</p>	追記・修正します。	<p>避難所運営については、これまでも、新型コロナウイルスに限らず、インフルエンザ等の感染症対策については対応を進めてきたところですが、現在感染が拡大している新型コロナウイルス感染症については、国や県の情報を基に、こういった対応をしていくべきか検討し、資機材の準備等を進めているところです。 原案においては、新型コロナウイルス感染症への対応を「避難所の生活環境向上」の一環と捉えて示しては示しては、コロナ禍の今策定している計画でございますので、その文言を前面に据えることで、皆さまと認識を共有するために追記・修正いたします。</p>	危機管理室

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
8		<p>■最後に 香芝の災害対策を“統括・リードしていく立場”での書き込みが無い。 行政・災害対策の本旨は、「市民の命と健康と安全を守る」こと。 そこに向けた行政の役割は、①総合的で計画的・有機的な防災対策全般の立案と実施、②地域組織の育成強化、③避難所対策の充実(マニュアル改訂を含む)をトータルでリードし、統括していくことにある。その中で、行政が担当すること・地域がすること・市民一人一人がすることが、語られるのである。</p> <p>そして、「計画づくり」が“仕事の終着駅”にならないことを、改めて願う。 大事なことは、練り上げた計画が、行政の施策として、事業としてどう展開され、どういう実績を挙げたのか。そしてそれが地域にどう波及し反映されて、どんな効果を上げ、どう活性化されたのか…。結果と果実である。</p> <p>“計画づくり”はあくまで目的達成のための前段・第一歩であって、目的ではない。基本計画が出来上がれば仕事は終わり…では、これまでと同じ轍を踏むことになってしまう。 災害対策業務・全ての面で、大きな“勘違い”がある現実を再度指摘しておく。 ⇒「地域組織の育成指導」「避難所運営マニュアル」関連で、別紙①②③添付</p>	原案のとおりとします。	ご意見をしっかりと受け止め、「計画づくり」が“仕事の終着駅”にならぬよう、目指す姿の実現に向けて毎年度の事業評価と改善を繰り返し、着実に事業を実施してまいります。	危機管理室
②	9	<p>前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策5 家庭・地域・学校の連携 (現状と課題7～10行目)</p> <p>全国学童保育連絡協議会は、子どもが負担に思うことなく学童保育に通い続けるためには、一時的な「受入児童数拡大」「待機児童解消」ではなく子ども一人ひとりが安心して関係を築けることが必要だと述べています。</p> <p>支援員の確保及び施設確保が必要と書かれていますが、保育内容の充実と指導員の力量を高めていくことが大切だと考えます。 改めて、声無き声をひろい分析し本当に求められている学童保育を目指すべきだと考えます。 また、放課後子ども教室と連動した運用方法と書かれていますが、本当にそれよいのでしょうか？</p>	追記・修正します。	ご指摘のとおり、子どもが安全に安心して、楽しく学童保育所に通うためには、より一層の保育内容の充実、支援員の資質向上が必要不可欠でございます。今年度、全学童保育所において保護者アンケートを実施したところではございますが、今後も引き続き、ご意見をいただきながら改善を図っていきたく考えております。原案の「現状と課題」には、この点についての記載がなされておりませんので、追記いたします。 また、放課後子ども教室との連携についてですが、文部科学省・厚生労働省が示す「新・放課後子ども総合プラン」においても推進されているものであり、本市においても検討が必要と考えておりますので、原案のとおりといたします。	子ども課
	10	<p>前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策5 家庭・地域・学校の連携 (SDGs該当分野4)</p> <p>市内地域には多様な人材がたくさんおられることと存じます。 現在市を分析しますと、大半(ほど全て)と言っていいほど一定の団体・個人に依存しておられ、また新規参入団体・個人を募集段階から外れる極端に言うとも既存団体に有利な条件でしか補助金・権利をおられないように感じます。 多様な人材を確保するには、現在ある既得権益団体をどうするのかの議論から始めないと香芝市はいけないと考えます。</p>	原案のとおりとします。	本施策で実施する事業は、現在も多くの地域の皆さまに参画いただいております。 学童保育所支援員のように資格が必要なものもございますが、基本的には、地域の皆さまとともに子どもを育て、教育する環境をつくっていきたく考えておりますので、多くの場合において、特段の基準を設けておらず、資格や活動実績等に関わらず活動いただいております。 第5次総合計画においては、より一層、地域ぐるみの取組を進めていく方針でございます。そうすることで、学校へのサポートにつながり、ひいては公正で質の高い学校教育の確保につながると考えますので、原案のとおりといたします。	子ども課 生涯学習課

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
11	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策5 家庭・地域・学校の連携 (SDGs該当分野5・8)	<p>香芝市の学童保育を退所させる児童が多数おられます。以下の理由で辞めていく児童もおられます。市の放課後児童クラブの現状と課題をもっと分析して頂きたいと思えます。</p> <p>子どもが学童保育に行きたがらない(指導員の対応、保育内容に不満があり退所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設時間や開設日が就労状況と合わないので退所</li> <li>・保育料の問題(新型コロナでの経済的ダメージで)</li> </ul> <p>就労状況などの物理的、経済的な事由のみならず、「保育内容に不満を持ち、子どもが学童保育に行きたくない」と思う理由で退所してしまうのは、避けられる事由だけに大変残念なことですし、保護者は行かせたい(預けたい)・子どもは行きたくない、女性の社会参画の機会を奪うことにつながっております。</p> <p>保護者が安心して働ける環境づくりを市の分析が甘いことによって可能性を潰していると考えます。市としても早期に退所する児童分析を進め、いち早く行動に移すことが大切だと考えます。</p> <p>全体的に課題が書かれていませんが、しっかりと分析をさせているのでしょうか？</p>	原案のとおりとします。	<p>児童が年度途中で退所される際には、その理由も記入のうえ、退所届を提出いただいております。理由としては、「一人で留守番ができるようになったため」、「習い事を始めるため」といったものが多くありますが、その他、特段の事情が見受けられた場合には個別にお伺いするなどして、現状と課題の把握に努めております。</p> <p>そして、都度、解決できることは直ちに改善を図り、運用の見直し等が必要なおことは時間をかけて十分に協議し、対応しているところでございます。</p> <p>現在、学童保育所は指定管理者制度により運営しておりますので、市と指定管理者間の情報共有、連携を密に行い、現状の把握と課題の発見に心がけ、よりよい保育の提供に努めてまいります。</p> <p>そして、女性の社会参画の機会確保、保護者が安心して働ける環境づくりにもつなげていきたいと考えておりますので、原案のとおりといたします。</p> <p>なお、ご意見に挙げていただいている、児童が学童保育所に行きたがらないといった場合で支援員の対応や保育内容に不満がある場合には事実関係を確認し、学童保育所側に不備や不手際等があれば直ちに改善を図っております。</p> <p>また、経済的な理由がある場合には、世帯の状況に応じて保育料の延納や減免により対応しているところでございます。</p> <p>開所日数・開設時間が保護者毎の就労状況に合わないといった場合は、現状、個別に対応をとることが難しく、日数・時間を変更するには至っておりません。</p>	こども課
12	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 (現状と分析7～10行目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成支援や活動支援、人材発掘など新たな仕組み作りが必要と書かれていますが、現在市と癒着のある既得権益団体に対して、どう市として対応されるのでしょうか？香芝市に新規の活動・新規の人材発掘をできない分析をして頂き総合計画に記載して頂きたい。過去をみてもたくさんの方が既得権益団体の妨害によりあるいは恣意的に活動を妨げられてきた、我慢させられてきた団体があります。しっかり過去からの分析をお願いします。</li> </ul> <p>正確な分析をし課題を見つけていかないと、新しい団体は生まれません、仕組みも作れません。</p> <p>本来なら、新たな団体は時代に併せてある程度は、自然と出来てくるものだと考えますが、それを妨害する認めない市の体制自体を改めないと新たな仕組み作りは出来ないと感じます。</p>	追記・修正します。	<p>まちづくり提案活動支援事業等において、特定の団体のみを対象に活動支援を行っているということはありませんが、「恣意的に活動を妨げられてきた」「我慢させられてきた」と感じる方がおられることも踏まえ、今後ますます、公共の担い手として重要な存在になってまいります市民公益活動団体の育成支援、活動支援はもちろんのこと、新たな人材が新たな活動をスタートするきっかけとなるような支援にもさらに注力したいと考えます。</p> <p>課題認識として、このことをより強く伝えるために、施策13「現状と課題」の9行目に記載の文章を「そのため、市民公益活動団体の育成支援や活動支援はもちろんのこと、新たな人材の発掘にもつながるような仕組みづくりが必要です。」に改めます。</p>	市民協働課

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
13	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 (現状と分析11~12行目) (SDGs該当分野17)	・協働によるまちづくりをする担当課が香芝市にはないと感じます。必要に感じているならば市の機構改革を行い、市民に対して市として市民や団体と協働でまちづくりをするという強いアピールが必要だと考えます。 市の考えが変わらないことには、新たなまちづくりはできないと考えます。	原案のとおりとします。	まちづくりは、子育て・教育、健康・福祉、人権・協働・文化等、多岐に渡りますので、各所管部署がそれぞれ責任をもって事業を進めております。そのため、「協働によるまちづくり」という視点は、ある一つの部署のみが持つものではなく、全ての部署で持つべきものであると考えております。その中で、本市には「市民協働課」がございますが、その位置付けは、市民公益活動団体に対する支援、及び活動する市民同士を繋げるコーディネーターとして活動の活発化を図っていくというものでございます。施策13は、この取組について記載したものであり、この取組を進めることで、シビックプライドの醸成、市民・地域団体、事業者等の協働によりさまざまな地域課題を解決する仕組みづくりにつながるものと考えますので、原案のとおりといたします。 また、第5次総合計画においては、より強く協働の視点を持つために、基本構想「第4章 まちづくりの進め方」にその考え方を示すとともに、施策ごとに「生活の中でみんなができること」を示しております。	企画政策課 市民協働課
14	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 (施策の主な取り組み②)	多くの市民の市民活動への支援の体制を構築しないといけない立場の市が一部の方のみに偏る支援になっています。 香芝市に問い合わせると、『今までの経緯が』『市がお願いして作って頂いた組織だから』(全て市職員言葉)との返答 ここに書かれているボランティアやNPOは、市と癒着ある団体の事を指しているのであれば、総合計画の中に『ボランティアやNPO等の一部の市民公共団体活動団体の地域での活動を支援・・・』と記載を変更しなさいと考えます。今の市の考え方を改めて市民公益活動団体の支援を行うのか、考え方を改めるのか市の意見を総合計画の中に取り入れて頂きたい。	原案のとおりとします。	現在、まちづくり提案活動支援事業等において、特定の団体のみを対象に活動支援を行っているということはありません。 市民公益活動団体は、今後ますます、公共の担い手として重要な存在になってまいりますので、さまざまな活動を支援することで、地域の活性化を促進していくという方針でございます。 計画内容は、この方針に沿ったものとなっておりますので、原案のとおりといたします。	市民協働課
15	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策14 文化芸術の振興・多文化共生 (現状と課題7~9行目) (SDGs該当分野4) (事業者ができること)	2017年から市に国際交流事業の提案(市の予算0円)をしましたが、ここに記載されていることと大きく乖離する。 事業者が出来ることとして、記載しているのであれば市がどうして香芝市で(他12市中10市開催)国際交流事業をして頂けなかったのか現状と課題に記載をしなければいけないのではないのかと考えます。 前回にも総合計画の中のパブリックコメントの中にも記載しているにも関わらず、返答すらない。 市民の意見をしっかりと市として受け止めようとしているのか？このページには市の行動と乖離する部分が多々あります。	原案のとおりとします。	個別の事案に対して、総合計画パブリックコメントとしての回答は控えさせていただきますが、予算上の問題以外にも、公平・公正の観点、制度運用上の要件等もあり、皆さまからご提案いただく活動を市として支援できない場合もございますこと、ご理解いただきたく存じます。 しかしながら、多文化理解と国際交流を推進するにあたって、市民の皆さま、地域団体の皆さま、事業者の皆さまにも、それぞれの立場においてできることを実践していただくことで、生み出される効果は大きくなると考えております。 計画内容は、この方針に沿ったものとなっておりますので、原案のとおりといたします。	市民協働課
16	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策14 文化芸術の振興・多文化共生 (施策の主な取り組み②)	4件の件数を目標にあげられるが、これは市と癒着ある団体ができる回数ですか？ 4件ありきで市としては考えておられるのか？全ての団体に機会を設けていただければ国際交流事業実施回数はもっと増えます。 この4件こそ、市と一部団体だけで行おうという数字に思えます。(今までがそうだから) 国際交流市民団体や・・・連携して開催しますと記載がありますが、一部団体のことでしょうか？ 市は、否定されると思いますが、現実はどうなっています。(証拠もありません)	追記・修正します。	指標に設定している「国際交流事業実施回数」は、市主催で実施する事業の件数です。 事業内容としては、広く市民の皆さまを対象としたセミナー、イベント等の開催を想定しており、多文化理解・国際交流等の活動をされている団体の支援ではございません。 セミナー、イベント等の開催にあたっては、より充実した内容となるよう、国際交流活動を行っている市民の方や各種団体の皆さまに、さまざまに協力いただきながら、企画・立案していきたいと考えております。 但し原案においては、「市民団体と公的機関」に偏った表現となっているため、「国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し」に改めます。	市民協働課

# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
17	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策15 生涯学習とスポーツ活動の充実 (現状と課題4～7行目)	2015年3月に策定してから変化がありませんが・・・？ 書くのは自由ですが、そんなにこの総合計画は軽いのですか？	原案のとおりとします。	個別計画である「第2次香芝市生涯学習推進基本計画」において事業を具体化し、取り組みを進めておりますが、道半ばであると認識しております。 第5次香芝市総合計画に示す方針に基づき、引き続き、取り組みを進めてまいります。	生涯学習課
18	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策15 生涯学習とスポーツ活動の充実 (現状と分析10～13行目)	有効活用の市の見解を聞かせて頂きたいです。 有効活用をして(今は全く出来ていない)いくための取り組みを市がやっていかないといけないと考えます。 今の市の制度・体制で有効活用ができていますのか市としての検証が必要と考えます。 一部の団体・個人に予算(お金)・権利(場所)を与えすぎていませんか？ 今のままであれば、この総合計画にかかっている現状と課題は甘すぎます。	追記・修正します。	市内には9つのスポーツ施設がございますが、中には利用率が低い施設や時間帯があり、全体としての利用率は50%程度にとどまっています。 今後、各施設の特性を活かした教室・イベント企画の創意工夫、利用環境の改善等の取り組みを進め、個人でも団体でも、一人でも多くの方に、気軽に楽しくスポーツに親しんでいただけるよう改善していきたいと考えております。 スポーツ施設の利活用につきましては、主な取り組み②に利用率・利用者数の目標値を掲げておりますので、目標達成に向け、取り組んでまいります。 施設が有効に活用されていないことについて、課題として強く認識するため、「現状と課題」に記載の内容を追記・修正いたします。	生涯学習課
19	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策15 生涯学習とスポーツ活動の充実 (SDGs該当分野4)	ここに書かれていることを実現するためには、今をどう変化させるのか 全ての人に平等にというのであれば、既得権益団体をどうするのか？ 10年間変化全くしていませんが、すべての人にはやめて1部の人に変えてはどうでしょうか？	原案のとおりとします。	本計画において、「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境」づくりを目指しており、そのために必要な事業の改善を都度、行ってまいります。 そして、このことはSDGs該当分野4の一助につながると考えますので、原案のとおりといたします。	生涯学習課
20	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策15 生涯学習とスポーツ活動の充実 (SDGs該当分野10)	変化の激しい時代では長期的な見通しを立てて行動しておかないと、突然の変化に困窮するような気がします。そうなった時に既得権にしがみついたところで、既得権は何も助けてくれません。市内にある団体が、本質的なものか特権的なものかということを正しく理解しておく必要や常に監視しておくことが必要になると考えます。 今は、全ての人に平等に活動の機会を提供できていない。 一部の方にのみ沢山の予算(お金)権利(場所)を与えています。 市としてその一部の方に対して平等にするならどう説明・変化を求めるのか、そこには一部団体が活躍する市に賛同されている議員さんもおられると思います(証拠がないので思うにします) かなり今の市の体制では難しい課題だと考えますが、総合計画に書かれて大丈夫なのでしょうか？ 市の担当者がよくおっしゃるこの団体がなければ市としては困るとよく言われます。 本当に市民にとって必要なのであれば、必ず市民が作り出せます。市民をみくびらないで頂きたいです。	原案のとおりとします。	本市は、目指す姿に示しておりますとおり、「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境」を整えていきたいと考えております。そして、その実現には、われわれ行政が力を尽くすことはもちろんのこと、市内で活動されるさまざまな団体の皆さまのお力も必要と考えております。計画に記載の内容は、この方針に基づくものでございますので原案のとおりといたします。 しかしながら、現状に対して、「全ての人に平等に活動の機会を提供できていない」と感じている方がおられることを重く受け止め、文化・スポーツ教室、イベント等の企画・立案、中央公民館や総合体育館等の施設の推進にあたっては、十分に検討してまいります。	生涯学習課



# 第5次香芝市総合計画(案)に対するご意見と香芝市の考え方

ご意見者 ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する香芝市の考え方		
	該当箇所	ご意見の内容(原文のまま)	追記・修正の有無	考え方	関係所属名
21	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策15 生涯学習とスポーツ活動の充実 (地域団体ができること/事業者ができること)	地域の団体として出来ることは、一部団体(既得権団体)を除いて出来ることは香芝市では少ないです。 各種団体が持つ知識と経験を生かし、地域づくりに貢献することを望んで企画をしても市は認めない。 もちろん認めない理由はあるのですが、それが、一部団体のために出来ないというのが現状です。 これは、担当課と話している中に出てきています。(証拠有り) ここで記載されている地域団体とは一部団体(市と癒着ある団体)であればそういう記載が必要です。 地域団体や事業者が今は本当に何も(一部の団体を除いて)できないのではなく、認めない・させない香芝市になっています。 この部分は10年変化がありませんので、現状の一部地域団体・一部事業者ができることに変更したほうがよいのでないかと考えます。 記載しておいて、やらないという一番卑怯な手法をとらないようお願い致します。 総合計画が意味のないものにつながりかねません。	原案のとおりとします。	「生活の中でみんなができること」は、市民の皆さま、地域団体の皆さま、事業者の皆さま、それぞれの立場で活動できる範囲において実践していただきたいこととして挙げさせていただいているものです。 協働のまちづくりを推進するうえで、取り組みの方向性を共有するための項目でございますので、原案のとおりとします。 一人でも多くの皆さまに組み込んでいただくことで、生み出される効果は大きくなると考えておりますので、活発に活動していただける環境づくりを進めてまいりたいと考えております。 しかしながら、公平・公正の観点、制度運用上の要件、予算上の問題等もあり、皆さまからご提案いただく活動を市として支援できない場合もございますこと、ご理解いただきたく存じます。	生涯学習課
22	前期基本計画 第1章 基本計画各論 施策19 観光の振興	SNSを用いた情報発信やインバウンドへの対応で本当に新たな観光客を獲得することができるのか？ また、観光客数の目標値が現在と2,500弱しか増えていない。そのための予算をいくらかけようとしているのか？ 香芝市の考え方として、観光客と交流人口を別々に考えておられます(職員の話) 交流人口・関係人口と観光客をいっただいとなった考え方を検討されてはいかがですか？ 別々に考え、予算を分散化させるよりいっただいとなった考え方で予算を効率よく使うほうが、市にとっては、無駄な予算を省くだけでなく、市の経済効果もあがると考えます。 また、観光名所・・・快適性を向上を図りますと記載されていますが、この整備事業には多額の費用が必要に、なるにも関わらず、市にとってはほぼメリットがないように考えます。 113ページの4つの基本目標にも掲げあげておられますが、稼ぐ地域・・・とあります。 2025年にはお隣の大阪府で万博があります。今から交流人口・関係人口・観光客受入態勢を作っている市と出来ていない市では2026年以降大きく変わると考えます。 この観光の振興では、今後人口減による地域内消費の低下による地域経済の縮小・地域雇用も失われていくことが予想されます。またそのことにより地域の活力維持が難しく、税金も含めて財源の確保が難しくなり住民サービスを維持できなくなる可能性も出てきます。 交流人口増・関係人口増・観光客増で人口減による地域内消費・財源確保にもつながります。 この観光振興の考え方では、難しいように考えますので、総合計画の変更を求めます。	原案のとおりとします。	SNSは全国の人々に香芝市の魅力を発信できるツールですが、これまで本市は積極的に活用できていた訳ではございませんでした。このSNSというPRツールを一つ増やすことで、現状より、観光誘客につながると考えております。その他にも、観光誘客につながる事業を実施してまいります。総合計画の方針に基づき、毎年度、事業の詳細な内容を計画いたします。事業予算については、年度ごとに決定しておりますので、総合計画の策定段階では具体的な回答をいたしかねますが、限られた財源の中での推進となりますので、実施方法はさまざまに検討しながら、各施策目標を達成していきたく考えています。  また、地域経済の活性化には、観光客、その他の交流人口、さらには関係人口の増加が必要であるとと考えております。観光施策の推進は、必要な要素の一つであると捉えておりますがアプローチ方法はさまざまございますので、他の施策と併せて、相互的、相乗的に効果を生み出していきたいと考えております。 なお、施策19において、「現状と課題」に挙げております、産業観光やエコツーリズム等の観光の新たな形態や新たな観光資源の発掘等、今後の検討課題は残っておりますが、現時点において示す計画内容としては原案のとおりといたします。 今回いただきましたご意見も事業検討の参考にさせていただき、地域経済の活性化に向け、取り組んでまいります。	商工振興課